



クラフトマン・ストーブ

# STOVE NEWS

2007 創刊号 No.1



石村工業株式会社

〒026-0002 岩手県釜石市大平町4-2-1

TEL 0193-22-3641 FAX 0193-22-3638

http://www.craftman-pe.com

E-mail eco@craftman-pe.com

## ストーブニュース 発刊にあたって

2002年、岩手県からの提案により業務用薪ストーブを開発・販売、翌年に家庭用ペレット・薪兼用ストーブを開発し今日まで700台製造・販売してまいりました。手探りの販売活動ではありましたが、ここまでこれたのはクラフトマンストーブのご愛顧と地球環境に対する皆様のご理解と深く感謝申し上げます。木材を有効に使うことは森林や国土そして地球環境を守ることにつながると確信しております。

薪やペレットを燃料として活用することは大きな目的に向かう小さな1歩かもしれませんが、その小さな1歩を確実に歩むことが大切なことと思っております。また、弊社のストーブが普及することでかつての「囲炉裏」が果たしたような火を囲んで家族が安らげる生活や、地球に負荷ををかけないライフスタイルを見いだすきっかけになればとも思っております。そのためのヒントとなる弊社や皆様からいただいた情報を交換する場としてストーブニュースを発刊することになりました。皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

代表取締役社長 石村眞一

## 薪準備 ノススメ!

皆さんは薪の準備をどうなさっていますか?まだまだ先の話と言っていると、後で慌てることになってしまいます。そうならないためにも早めの準備をオススメします。今回は購入することを前提に岩手県の例(岩手県森林組合連合会)を紹介します。岩手県以外の方は、お住まいの県、市町村の林業振興担当部署や森林組合に問合せれば情報が得られるはずです。

■薪は「束」と「棚」の2つの単位があります。

**束**は長さ38cmの薪が直径22~23cm程度の針金に入る量となります。**1束480円**で100束単位で盛岡周辺まで配達してくれるそうです。

**棚**は長さ90cmの薪を幅180cm、高さ180cmまで積んだ量となります。**1棚 57,750円/2棚 78,000円/3棚 100,800円**盛岡周辺まで配達料込みの価格です。

※薪用の木材は4月から6月にかけて伐採します。配達料の割合が多いので量が多い程安くなります。岩手では2棚程度必要とのことです。チェーンソーで輪切りにして斧で小割りして積んで乾燥させます。早めこの作業が終われば薪は乾燥が進みストーブシーズンには最適な状態になります。丸太のままでは乾燥に時間がかかります。



## 釜石って どんな町?

釜石は江戸末期に大島高任が洋式高炉を橋野に建設して以来、釜石の鉄が近代日本の礎を築いてきました。人口が一番多かったのは昭和32年まさに鉄は国家なりの時代で9万2千人を超えていました。しかし、重厚長大から軽薄短小へ転換した日本経済は製鉄業に厳しい合理化を迫り釜石は高炉の火が消えました。多くの製鉄マンが釜石を去り、現在は4万3千人となりました。釜石は残された線材工場と製鉄業が育んだ機械・金属等の地場産業、漁業、観光を核に活性化させるべく努力しているところです。



新日鉄釜石工場と大島高任像



駅前魚市場

こんな釜石にとって今年度は三つのビックプロジェクトが完成した記念すべき年になりました。その一つが15年の歳月と700億円かけて開通した仙人峠道路です。

二つ目が29年と1300億円かけた釜石港湾口防波堤の完成です。三つ目が15年と140億円かけた釜石港公共埠頭の完成です。



釜石港空撮

港の機能を高め、内陸部からのアクセス上のネックを解消した釜石は三陸沿岸の拠点都市として新たに発展することが期待されています。

## 会社ミニ紹介

石村工業株式会社は昭和34年に釜石製鉄所の設備製造・メンテナンスを担当する企業として先代が設立しました。現在は二代目の石村眞一社長と弟の成蔵専務が経営を引継ぎ省力化機械の開発製造、プラント製造を行っています。2003年からストーブ製造販売をスタートさせ2006年にはストーブ専用工場を立ち上げました。